



最近の汐入小

雨で延期となった春の遠足でしたが、天気にも恵まれて6月3日(金)に実施することができました。

この遠足を通して、6年生には最上級生としての自覚が、5年生には高学年としての想いがそれぞれ芽生えたようでした。また、1年生から4年生には、みんなでゴールを目指す大変さと到着したときのうれしさを感じてもらえたようでした。

ところで、汐入小学校の伝統として学年に囚われずに子どもたちは過ごしていましたが、遠足に向けた取り組みが進むなかで、学年関係なく遊んでいる場面を目にすることがより多くなってきました。こういった良き伝統はこれからもつなげていきたいと思えます。



さて、ほの会の皆様による読み聞かせが始まりました。メンバーの方々の巧みな読み聞かせに子どもたちは集中して耳を傾けていました。子どもたちが本を読むことへの良いきっかけとなるとうれしいです。



新体力テストを実施しました。これは、以前はスポーツテストと呼ばれていて、子どもたちの運動能力を調べ、今後の体育の学習等の参考としていくものです。

内容は、握力・上体おこし・長座体前屈・反復横跳び・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げ、の8種目です。詳しくは、お子様の体育の教科書をご覧ください。

子どもたちは、一杯、自分の限界に挑んでいました。



教育実習生

日頃、教育ボランティアとして本校の教育活動に協力してくれている@@@@@さんが、5月30日(月)より6月24日(金)まで、教育実習生として5年1組に着任しました。よろしくお祈いします。

あいさつ運動

6月13日(月)～6月17日(金)に、計画委員会主催のあいさつ運動が行われます。あいさつは学校を楽しくする第一歩だと考えています。ご家庭の方でもお声かけをよろしくお祈いします。

格好いい大人



6月3日（金）の春の遠足から6月4日（土）～5日（日）の汐入子之神社祭礼まで、汐入っ子たちの様々な様子を見ることができました。

春の遠足では、6年生を中心に、縦割り班ごとにまとまってゴールである海の公園に何事もなく到着することができました。また、海の公園での潮干狩りや砂の芸術づくり、お弁当タイムや集会などでも、まとめ役である6年生を中心に、メリハリのある活動となっていました。そして、帰り道では、100人を超える子どもたちが乗っているにもかかわらず、シーサイドラインや京浜急行の車内はとても静かでした。公共施設の使い方のマナーやルールがしっかりと身につけてきている汐入の子どもたちです。



学年の自覚をもって行動する 公共のルール・マナーを守る

左のような汐入の子どもたちの良さは、学校の力だけでは育てていくことはできません。その原点を子之神社の祭礼で感じました。

土・日の祭礼では、町内の皆様とともに、回らせていただきました。それぞれの場所で町内の一員としての自覚を持って、祭礼を楽しんだり、役目を果たしたりと子どもたちは笑顔で参加していました。そして、笑顔の子どもたちをバックアップしてくれている格好いい大人の方々が数多くいらっしゃいました。



まずは、町内の方々の温かいご指導に感謝いたします。おかげさまで、子どもたちに町内の一員としての自覚を持って行動する姿勢が育っています。

次に、祭礼の成功に向けて、ルールやマナーを徹底していただきありがとうございます。子どもたちにとって、ルールやマナーを守る意義をもう一度知る良いきっかけとなったと思います。

最後に、祭礼後のお掃除をありがとうございました。お話を伺うと、汐入小の校庭までやっていただいたとことでした。本当にありがとうございます。

子どもたちは大人を見て育ちます。ご家庭や地域の格好いい大人の方々が本校の子どもたちの良さの原点となっています。

汐入小学校の教職員も、子どもがマネをしたくなるような格好いい大人を目指します。

子どもたちのより良い育ちに向けて、これからもよろしくお願ひします。



祭礼翌日、塵一つない学校前